

**カネエ電気株式会社**

2020年度 第48期  
**第2四半期決算報告書**

令和2年1月1日～6月30日

[www.canare.co.jp](http://www.canare.co.jp)

# 株主の皆様へ

## 第2四半期連結業績概要

前年同期	当第2四半期
売上高 56.9 億円	<b>47.6 億円</b> (-16.4%)
営業利益 5.7 億円	<b>4.0 億円</b> (-29.6%)
経常利益 5.8 億円	<b>4.2 億円</b> (-27.6%)
第2四半期純利益 3.3 億円	<b>2.9 億円</b> (-11.1%)
1株当たり第2四半期純利益 49.8 円	<b>44.2 円</b> (-11.1%)
総資産 149.3 億円	<b>147.9 億円</b> (-0.9%)
純資産 132.6 億円	<b>135.2 億円</b> (2.0%)
1株当たり純資産 1,965 円	<b>2,004 円</b> (2.0%)

※子会社は、9ページをご覧ください。

## ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第48期(2020年12月期)第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、当社グループの業績概要についてご報告申し上げます。

当第2四半期の当社グループを取りまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響で国内外共に第1四半期末にかけて急速に悪化し、海外各地の封鎖措置や国内での緊急事態宣言などにより第2四半期以降世界経済は一層低迷いたしました。その後、段階的に緊急事態が解除されておりますが未だ新型コロナウイルス感染症収束の見通しは立たず、景況は下げ止まったままとなっております。こうしたなか、当社グループは、光製品や電子機器の新製品普及活動、AVコンソール製品などの販促活動を積極的に行うと共に、ITネットワーク関連製品など新規製品の開発活動に取り組んでまいりましたが、各種イベントの先送りなどによる市場低迷や顧客訪問の制限などの営業活動の制約を受け、第2四半期に入り国内外共に業績が大きく落ち込みました。この結果、売上高47.6億円(前年同期比16.4%減)、経常利益4.2億円(前年同期比27.6%減)、純利益2.9億円(前年同期比11.1%減)と減収減益となりました。中間配当金につきましては、当第2四半期の業績を勘案し、1株当たり13円とさせていただきます。

下半期(7月-12月)の通期業績予想につきましては、国内市場・海外市場共に新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くと予想されることから、売上高92.1億円(前期比19.4%減)、経常利益6.7億円(前期比43.7%減)、純利益4.8億円(前期比35.1%減)、期末配当金は、8円(年間21円)を予定しております。

株主様におかれましては、今後ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

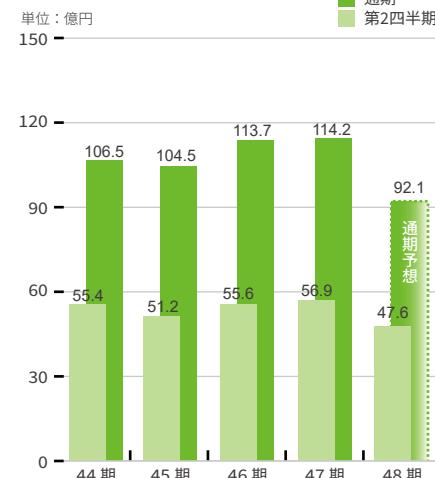
2020年9月  
カナレ電気株式会社  
代表取締役社長  
中島 正敬

中島 正敬

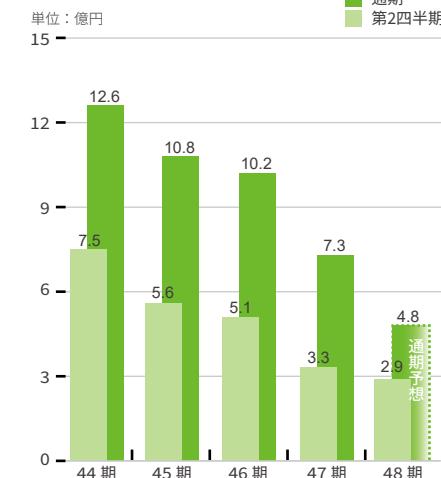


# 連結業績推移

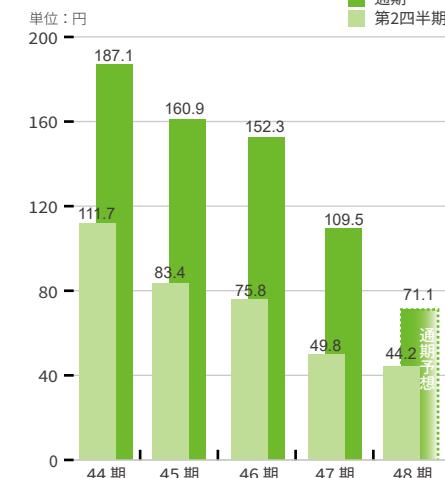
## 売上高



## 純利益



## 1株当たり純利益

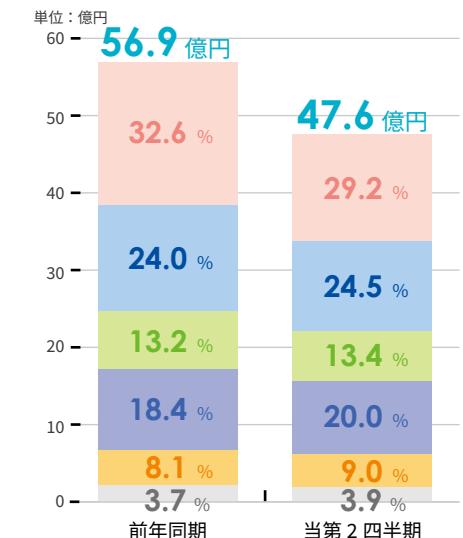


<ご注意!>通期予想は、現在入手可能な情報を基に慎重に策定しておりますが、さまざまな要因の変化から、実際とは大きく異なる可能性がございます。予めご承知ください。

## 製品別の状況

	前年同期	当第2四半期
<b>ケーブル</b> 同軸ケーブル 光カメラケーブルなど	18.5 億円	<b>13.9 億円</b> (-25.0%)
<b>ハーネス</b> コネクタ付き接続ケーブル など	13.6 億円	<b>11.6 億円</b> (-14.8%)
<b>コネクタ</b> BNCコネクタ DINコネクタなど	7.5 億円	<b>6.3 億円</b> (-15.3%)
<b>パッシブ機器</b> AVコンソール製品 ビデオパッチ盤など	10.5 億円	<b>9.5 億円</b> (-9.4%)
<b>電子機器</b> 光コンバータなど	4.5 億円	<b>4.3 億円</b> (-6.3%)
<b>その他</b> 他社購入品など	2.0 億円	<b>1.8 億円</b> (-11.5%)
<b>合計</b>	<b>56.9 億円</b>	<b>47.6 億円</b>

## 構成比



## 中島社長が 質問にお答えします。

### Q1 第2四半期の状況を教えてください。

A. 当第2四半期は、連結売上高47.6億円（前年同期比16.4%減）と減収となりました。国内市場・海外市場共に新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制約の影響を受け、急速に悪化しました。国内市場では緊急事態宣言が出されて積極的な営業活動は停滞しましたが、延期となりました東京五輪2020関連設備や放送局向けプロジェクトなどの年度末まで

の執行済み予算への需要は着実に納入することができ、前年同期比11.8%減、32.1億円の売上となりました。海外市場は、国や地域によって影響を受けた時期や大きさが異なりますが、全体的に大幅な影響を受け前年同期比24.7%減の15.4億円と大きな落ち込みとなりました。

### Q2 海外市場はいかがでしょうか？

A. 国や地域によって差はあるものの、全ての拠点が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、厳しいと言わざるを得ない状況です。営業拠点である中国、アメリカ、ドイツやシンガポールなどの多くは、自国および担当する管轄各国で都市封鎖が起り、ほとんどの事務所が一時的に閉鎖される事態となりました。流行の初期段階では、中国が大きく影響を受け、2月の売上は激減しました。ですが、その後の対策により回復も早く、3月以降景気が持ち直しつつあり、凍結されていた設備投資予算が解除されはじめています。当社にとって重要なアメリカにおいては、世界最大の感染拡大となっています。6月時点でも感染

の勢いは弱まらず、経済活動がほぼ止まっていた。国策としての政治判断から徐々に経済活動が再開の動きをみせていますが、各州では異なる自治判断もあり、経済復興の動向は未だ不透明で、厳しい状況にあります。欧州市場ではイタリア、スペイン、イギリス、フランスなどの主要国で2月末から始まった都市封鎖も解除され、6月からは入国制限の緩和も進んでいます。感染の第2波、第3波も懸念されておりますが、まずは営業活動が再開できるようになりました。ですが、未だに再開の目途がたない拠点もあります。当社では、各国での事情をしっかりと把握しながら、まずは経営基盤の強化を図っています。

### Q3 下半期の見通しはいかがですか？

A. 国内外共に経済活動が徐々に再開されていますが、景気回復は新型コロナウイルス感染症など外部環境の変化に左右される状態が続くとみえています。大方の予想では感染拡大前の水準への回復は2021年以降とみられていますので、下半期も厳しい状況が続くであろうと当期見込んでおりました東京五輪2020向けの放送局のスポーツ中継やイベント用機材などの購入予算は見送られ、コンサートホールやライブハウスなどの設備の稼働率が厳しく、需要が減少することを予想しています。しかしながら、当社主要事業領域である映像や音響に関する需要が減ったものではなく、益々その期待が高まっています。外出自粛といわゆる「三密」を避けるために、スポーツやイベント、コンサートなどは配信サービスで開催されるようになりました。以前のような高価な業務用機器への投資規模は縮小、安価な民生機器が多数活用されるようになりました。信頼性とコストのバランスがとれた当社接続ケーブル

への需要は増加しております。また、放送局においては、厳しい市場環境にありながらも4K化に向けた設備更新、老朽化した社屋の建て替えなど事業の継続性に向けた投資は着実に進行しており、既に発売しています12G光コンバータや、放送機器開発に寄与する12GアクティブBNCコネクタの普及が始まっています。更に、前期から販促を開始しましたIP（インターネット）を活用した高性能な業務用4Kシステム機器の問い合わせが増加しており、新たな貢献製品になるものと期待しております。国内では地域を越えた活動の自粛要請、海外でも渡航はもとより、現在でも自国内であってもお客様へ直接営業活動ができない拠点もありますが、オンラインミーティングやニュースレターなども活用しながら、事態の収束をただ待つことなく、今の状況下で可能な営業・製品販促活動を全社一体となって取り組み業績回復を図ってまいります。



販促強化を推進しているAVコンソール。現在の状況、今後の展望などカナレシステムワークス株式会社の山本社長に聞きました。



山本英夫 社長

#### Q1. 市場について教えてください。

A. カナレシステムワークス株式会社（CSW）は、カナレグループの国内製造子会社として国内向け製品の製造をおこなっております。CSWの製品群は、レクチャー卓やAVワゴンなどの木工製品、コネクタパネルや端子盤などの板金製品、フラットディスプレイ用のハンガーなど、3つの製品カテゴリーを軸として展開しております。これらの製品の主な市場は、大学や小中高等学校などの教育市場、会議室や研修室などの法人市場であり、昨今は市場を広げ、官公庁や自治体、放送局やホテル宴会場、病院などの物件を積極的に推進しております。世の中はITやデジタル化により猛烈な勢いで技術革新が進んでおりますが、CSW製品のその多くは基本的にアナログ的な製品で構成されており、人が直接使う・触れることを前提に使い勝手など運用性能やデザインに軸足を置いて開発しております。

#### Q2. どのようなところに主眼を置いて業務を行っていますか？

A. CSWでは「お客様へのお役立ちの最大化」をキャッチコピーに据えて、設立当初より製品開発のコンセプトとしております。日々お客様の声を大事にし、ご要望などを積極的に取り入れて開発しております。特にお客様が個々に特注品として製作していた物を標準化し、カタログ製品に仕立てご提供しております。在庫販売の製品や受注生産品の幅広いラインアップを実現し、特注品の素案～設計～製造までの工程を削減するなどして、お客様の省力化や時間短縮を確立しました。特に木工製品では、教壇対応モデルや宴会場モデル、悪戯防止の机上扉付モデル、運搬や搬入に困らないユニット組立式モデルなど多種多様な現場に合わせたモデルを取り揃えております。

#### Q3. 第48期の状況を教えてください。

A. 第48期第1四半期の売上は、前年同期比でほぼ同額で推移しましたが、第2四半期以降は新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず出ており厳しい状況のなか、今後も難しい舵取りが必要となります。CSWでは、「新たな生活様式」に適合した対策としてユニークな製品開発を展開致します。政府発表による働き方改革、文教市場のオンライン授業なども含め、コロナ禍の取り組みは有意義な事となりました。更に、文部科学省で進めております小中高等学校向け「GIGAスクール構想」や、大学向けの「研究力向上改革」などへ迅速な対応をしながら売上を積み上げてまいります。

#### Q4. 来期49期の予想を教えてください。

A. CSWは来期49期、設立10年を迎えます。レクチャー卓や板金製品など、10年の節目に合わせて新モデルを市場へ投入します。今までに無いコンセプト製品を多く取り揃えると共に、お客様やパートナーの皆様への付加価値を今まで以上に発展させて頂きます。展示会や内覧会などの多くは新型コロナウイルス感染症により中止となり市場の声を伺う機会を逸してしまいました。49期は新モデルも併せて販促活動を精一杯強化して、多くの方々にお会いする機会を増やしてまいります。是非ご期待ください。

#### Q5. 将来の展望を教えてください。

A. お客様から期待の声を多く頂いております。「少子高齢化」による業界内での人手不足、工事関連や特注会社の廃業など、大きく重い課題が山積しております。また「働き方改革」では労働時間の短縮や残業の抑止も進めながら労働生産性の向上を図らなければならず、効率的に仕事が進められるツールや製品が必要となります。CSWでは製品やサービスで、その課題解決をおこなってまいります。まず提案や設計に必要な多様な構図の写真、様々な図面データなどのデスクツールは、ホームページからダウンロードできるようにします。図面では分り辛い部分は写真でより細かく確認ができ、また写真上では測れない寸法は図面から追うことも可能です。製品開発分野では、発売当初よりレクチャー卓など現場で組み立てが必要なノックダウンが一般的でしたが、CSWでは組立済みで販売をし、現場での組立作業を限りなく「ゼロ」にしました。コネクタプレートも多種多様なコネクタを取付けたラインアップを多く取り揃え、現場での組付け作業やシステムアップを簡素化しております。今後はカナレのケーブルとのシナジー効果を最大に活かしてまいります。例えばAV設備においては、お客様がカナレの「システム材料」を選択して頂ければ、レクチャー卓への組み込みや結線など、色々な工具使用や半田付けも不要となり、よりユーザビリティが高い設備として成り立つよう、今後の展開を考えております。即ちOneStopで「システム材料」が全て揃えば、煩雑な手配業務を減らすことが実現可能となるのです。今後も新たな市場において、「お客様へのお役立ちの最大化」を日々実践し、物件内シェアを拡大すると共に、お客様に一番に指名される会社に日々進化、発展させてまいります。

# 第2四半期連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表の要旨

(単位 千円)

資産の部	第2四半期 2020.6.30	前年同期 2019.6.30	負債の部	第2四半期 2020.6.30	前年同期 2019.6.30
流動資産	12,201,084	12,304,423	流動負債	1,171,244	1,560,949
現金および預金	8,446,700	7,886,909	買掛金	334,604	660,262
受取手形および 売掛金	1,172,763	1,468,267	未払金	132,238	149,878
棚卸資産	2,373,069	2,456,470	賞与引当金	84,737	82,767
1 その他	234,091	498,140	役員賞与引当金	7,246	15,896
貸倒引当金	▲ 25,539	▲ 5,363	3 その他	612,418	652,145
固定資産	2,596,379	2,629,723	固定負債	97,429	108,023
有形固定資産	1,414,122	1,439,066	長期未払金	-	489
建物および構築物	405,259	407,006	退職給付に係る 負債	9,419	9,339
機械装置および 運搬具等	244,620	264,745	役員退職慰労 引当金	34,836	64,470
土地	764,243	767,315	4 その他	53,173	33,725
無形固定資産	21,203	14,448	純資産の部	第2四半期 2020.6.30	前年同期 2019.6.30
2 投資および その他の資産	1,161,053	1,176,209	株主資本	13,734,271	13,356,556
			資本金	1,047,542	1,047,542
			資本剰余金	1,175,210	1,175,210
			連結剰余金	11,847,118	11,469,404
			自己株式	▲ 335,601	▲ 335,601
			評価・換算差額等	▲ 205,482	▲ 91,383
			その他有価証券 評価差額金	4,274	52,649
			繰延ヘッジ損益	127	-
			土地再評価差額金	▲ 371,051	▲ 371,051
			為替換算調整勘定	161,168	227,019
資産合計	14,797,463	14,934,147	負債・純資産合計	14,797,463	14,934,147

**point 1**  
・加工委託先への有償材料など 112百万円

**point 3**  
・未払法人税など 146百万円

**point 5**  
・受取利息・配当金 15百万円  
・投資事業組合運用益 4百万円

**point 2**  
・投資有価証券 828百万円

**point 4**  
・製品保証引当金 28百万円

**point 6**  
・投資事業組合運用損 5百万円

## 第2四半期連結損益計算書の要旨

(単位 千円)

科目	第2四半期 2020.1.1~6.30	前年同期 2019.1.1~6.30
売上高	4,761,338	5,695,636
売上原価	2,836,776	3,406,532
売上総利益	1,924,563	2,289,104
販売費および一般管理費	1,522,686	1,717,852
営業利益	401,876	571,251
5 営業外収益	31,520	21,697
6 営業外費用	8,583	6,438
経常利益	424,813	586,511
特別利益	-	-
特別損失	-	82,270
税金等調整前 第2四半期純利益	424,813	504,240
法人税、住民税 および事業税	139,705	189,078
法人税等調整額	▲ 13,797	▲ 21,244
第2四半期純利益	298,905	336,406

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー

(単位 千円)

	第2四半期 2020.1.1~6.30	前年同期 2019.1.1~6.30
7 営業活動によるキャッシュ・フロー	428,803	209,920
8 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 208,043	▲ 85,168
9 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 184,389	▲ 188,600
現金および現金同等物に係る換算差額	▲ 37,143	▲ 24,820
キャッシュ・フロー計	▲ 773	▲ 88,669

**point 7**  
・税引前純利益 424百万円  
・減価償却費および減損損失 102百万円  
・法人税等の支払額 ▲141百万円

**point 8**  
・定期預金の預け入れによる支出 ▲114百万円  
・有形固定資産の取得による支出 ▲64百万円

**point 9**  
・配当金の支払額 ▲168百万円

## 自己資本比率(第2四半期連結)



## 自己資本純利益率(ROE/第2四半期連結)



## 売上高経常利益率(第2四半期連結)



## 1株当たり純資産(第2四半期連結)



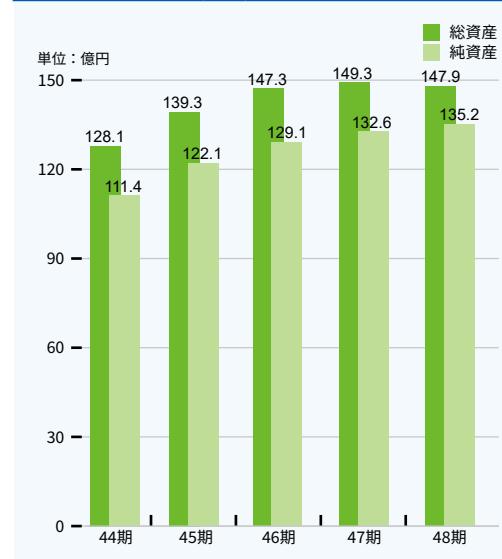
## 1株当たり純利益(第2四半期連結)



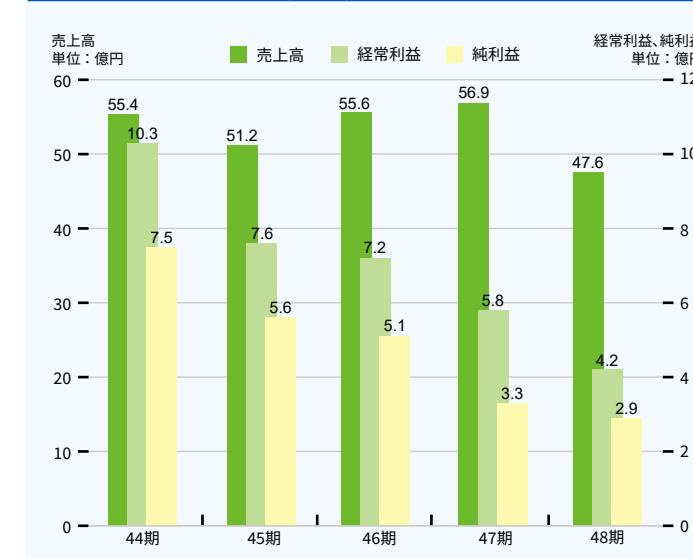
## 売上高純利益率(第2四半期連結)



## 財産状況推移(第2四半期連結)



## 業績推移(第2四半期連結)

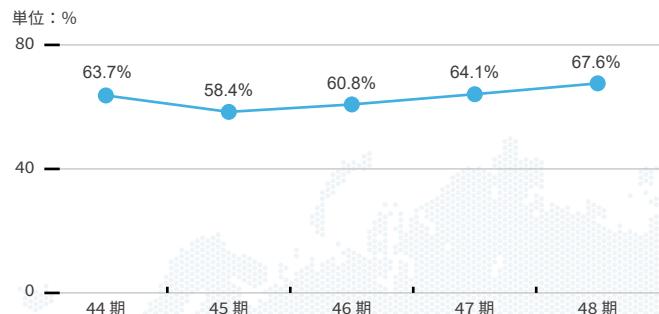


# 市場別売上高・構成比推移

※子会社は、9ページをご覧ください。

## 国内市場

### ■ 構成比



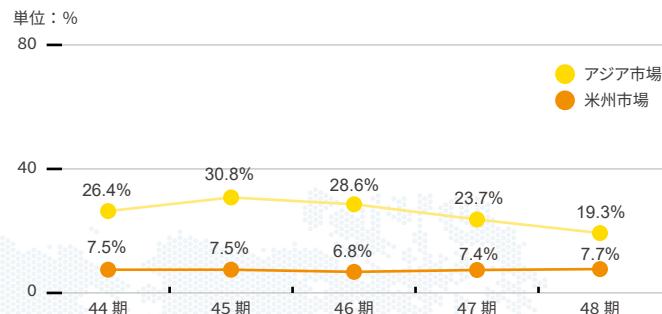
### ■ 売上高



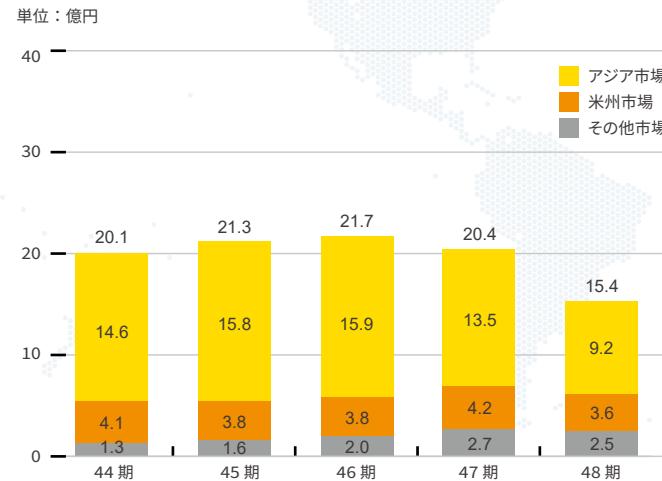
第1四半期は東京五輪2020物件や放送局の設備更新などの受注が堅調でしたが、第2四半期は新型コロナウイルス感染症拡大による受注減のため、国内売上高は前年同期比11.8%減になりました。

## 海外市場

### ■ 構成比



### ■ 売上高



UAEと欧州拠点は、売上が堅調に推移しましたが、その他の拠点は、新型コロナウイルス感染症拡大による都市封鎖やイベントの先送りなどの影響を受け、海外売上高は前年同期比24.7%減となりました。

# 株式の状況 (2020年6月30日現在)

発行可能株式数 23,092,200 株

発行済株式の総数 7,028,060 株  
(内自己株式数 278,514 株)

単元株式数 100 株

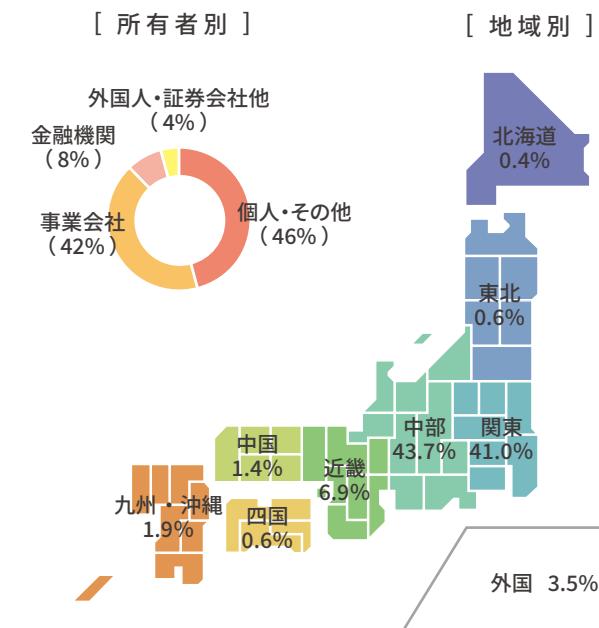
株主数 10,205 名  
(前第2四半期末比 831名増加)

## 大株主

株主様名	所有株式数 (単位 千株)	出資比率 (単位 %)
有限会社香流	800	11.3
株式会社新高輪	800	11.3
株式会社センリキ	350	4.9
株式会社センユキ	350	4.9
川本公夫	300	4.2
カナレ電気株式会社 (自己名義)	278	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	200	2.8
川本重喜	200	2.8
株式会社ノダノ	200	2.8
合同会社カワシマ	200	2.8

●所有株式数は千株未満を、出資比率は小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

## 株主様分布 (議決権個数の割合による)



## 株主優待

# カナレ電気の株主優待制度

基準日現在の株主名簿に記載され、かつ100株以上を保有されている株主様へ半期ごとに株主優待品を贈呈いたします。

同封いたしましたので、ご確認ください。



〈クオカード〉

決算日	保有株式数別 優待		お届け時期	贈呈方法
	100株以上 200株未満	200株以上		
2020年 6月30日	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分	今回同封	「第2四半期決算報告書」に同封
2020年 12月31日			2021年 3月中旬(予定)	「株主総会決議通知」に同封

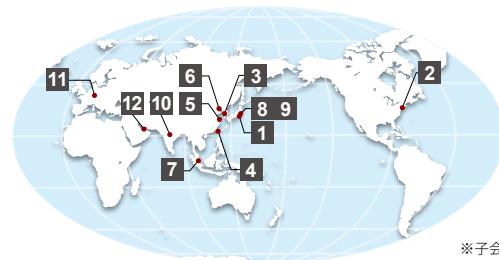
# 会社概要

## 会社概要 (2020年6月30日現在)

商号 カナレ電気株式会社  
 本社 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館13F  
 (登記上の本社 愛知県日進市藤枝町)  
 設立 昭和49年(1974年)2月 (創業:昭和45年)  
 資本金 10億4,754万円  
 従業員数 125名 / グループ:284名  
 (パート、派遣社員は含まず)  
 事業所 東京本社、名古屋本社、横浜事業所、  
 横浜営業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所、  
 光デバイス開発部

## 子会社

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 1 カナレハーネス株式会社                            | 7 Canare Singapore Private Ltd.       |
| 2 Canare Corporation of America          | 8 カナレシステムワークス株式会社                     |
| 3 Canare Corporation of Korea            | 9 カナレコネクティッドプロダクツ株式会社                 |
| 4 Canare Corporation of Taiwan           | 10 Canare Electric India Private Ltd. |
| 5 Canare Electric (Shanghai) Co.,Ltd.    | 11 Canare Europe GmbH                 |
| 6 Canare Electric Corporation of Tianjin | 12 Canare Middle East FZCO            |



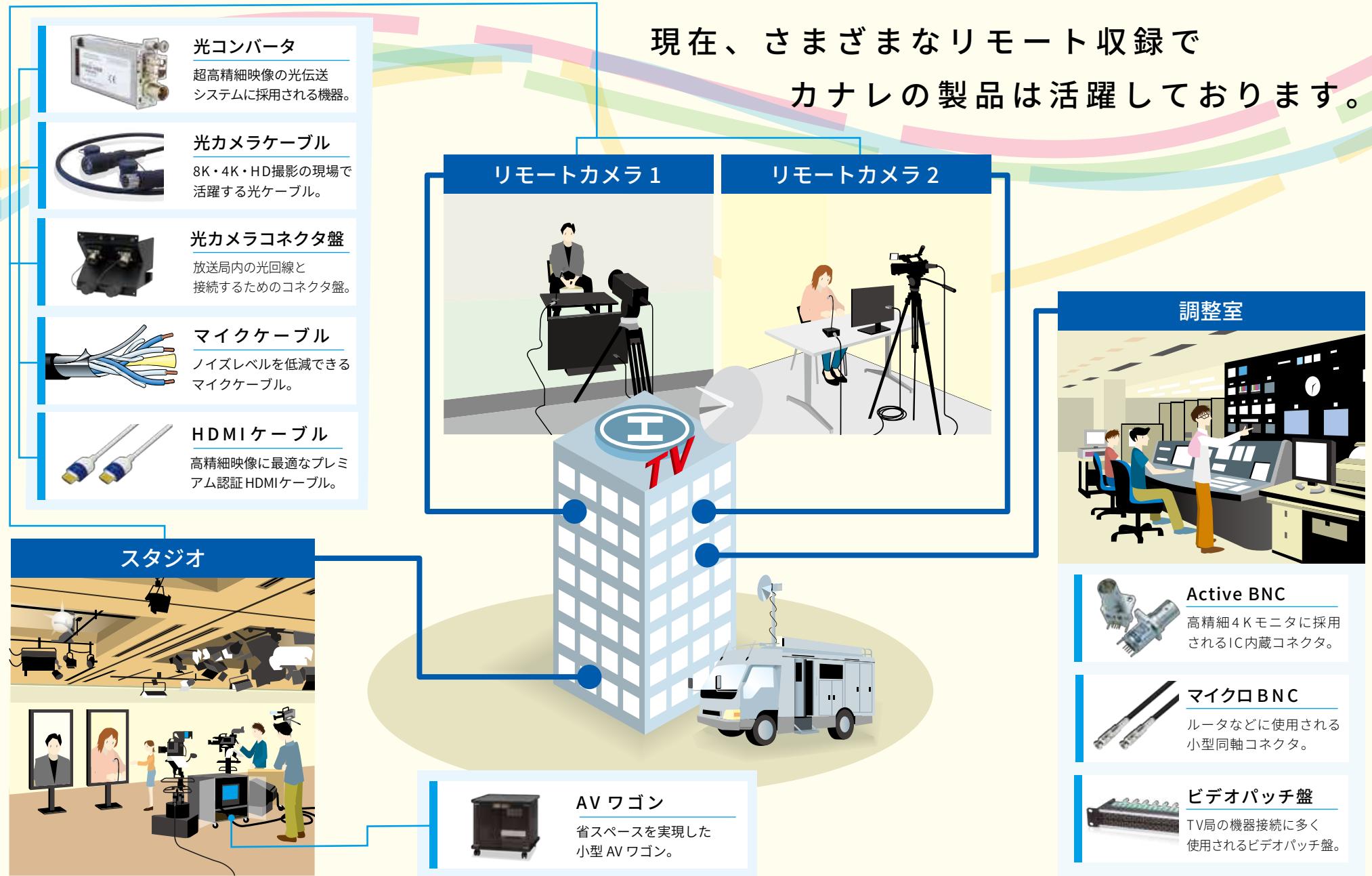
※子会社の記載順序は設立順です。

## 取締役および監査役

代表取締役社長	中島 正敬	常勤監査役	辻 重明
取締役	後藤 晃男	監査役	財田 洋一
取締役	伊藤 徹秀	監査役	三ツ目 純一郎
社外取締役	石井 秀明		
社外取締役	柳川 和英		

IR情報に関するお問い合わせ先 小淵 敦 TEL 045-620-7474(代)

現在、さまざまなリモート収録で  
 カナレの製品は活躍しております。



## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当の基準日 毎年6月30日および12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部  
**0120-782-031**（フリーダイヤル）

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社  
本店および全国各支店



### 住所変更も 証券会社へ

#### ■住所・氏名など届出事項の変更について

証券会社等に口座をお持ちの株主様… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様 …………… 下記連絡先(三井住友信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

#### ■未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三井住友信託銀行までお問い合わせください。

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三井住友信託銀行  
証券代行部

**0120-782-031**（フリーダイヤル）

## カワシ電気株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-1 LIVMOライジングビル 5F  
TEL.045-620-7474(代) FAX.045-620-7456

